

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・10月予測） ～消費分野が回復しプラス

2021年10月5日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

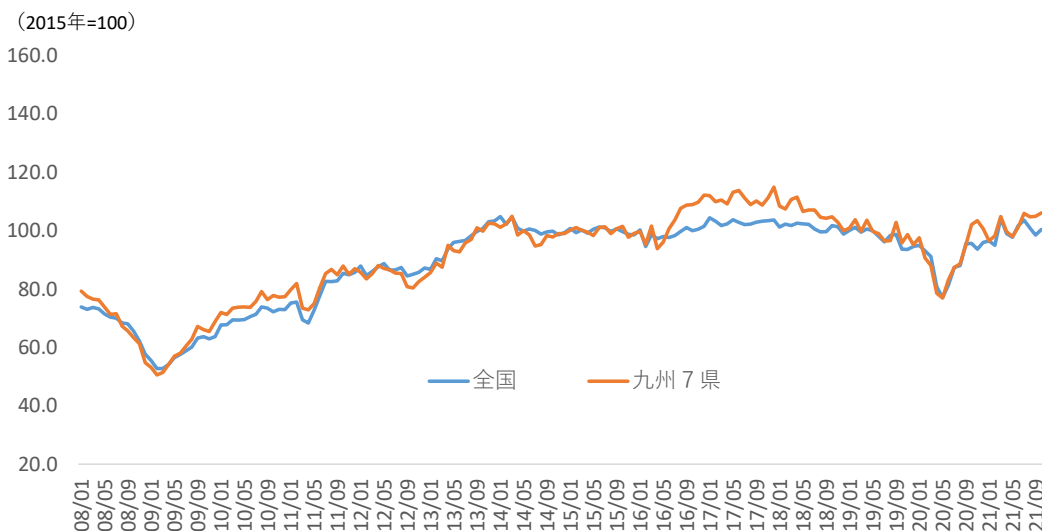
九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）ⁱを作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）ⁱⁱを DATASALAD にて公表している。本稿では、2021年9月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2021年10月の予測 CI を解説する。

2021年10月の九州7県の予測 CI：消費分野が回復しプラスに反転

2021年10月における九州7県の予測 CI は前月比+1.1%の106.1となり、前月までの横ばい傾向からプラスに反転した。6月から9月にかけて消費分野の回復ペースが鈍化していたが、10月はプラスとなり、指数の上昇に寄与した。雇用分野もプラスとなっている。生産分野は回復傾向ではあるものの、6～8月に比べるとペースが鈍くなっている。都道府県 CI は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除と新型コロナウイルス感染者の減少傾向を受けて消費マインドが好転し、消費分野を中心に回復するとみられる。

全国は前月比+1.9%の100.4となり、九州と同様に回復した。8月、9月は緊急事態宣言等による行動制約によってマイナスとなっていたが、10月は九州と同様に消費分野が回復に寄与した。

図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2021年7月までは実績値（都道府県 CI）、2021年8～10月は予測 CI

注2) 2021年10月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

2021年10月の九州地域の予測CI：消費分野が回復

2021年10月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、9県のうち6県でプラスとなった。特に山口県（前月比+3.4%）、福岡県（同+3.5%）、沖縄県（同+3.2%）でプラス幅が大きく、3県とも他県に比べて消費分野、雇用分野の上昇寄与度が大きい。山口県は生産分野もプラスに寄与した。

先行系列をみると、消費分野が回復に転じ、雇用分野も回復傾向となっている。一方、生産分野の先行指標のひとつである製造業所定外労働時間の減少傾向が続いている。10月は9月までと傾向が異なり、消費分野が回復を牽引する可能性がある。

表1 都道府県CI、予測CI（全国、九州地域）

	指数（2015年=100）						前月比（%）					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2021年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	2021年 5月	6月	7月	8月	9月	10月
全国	97.8	101.8	103.6	101.0	98.6	100.4	▲1.2	4.1	1.8	▲2.6	▲2.4	1.9
九州7県	98.0	101.3	106.0	104.8	104.9	106.1	▲1.7	3.4	4.6	▲1.1	0.1	1.1
山口県	86.2	83.1	85.0	81.4	88.2	91.3	0.7	▲3.6	2.3	▲4.2	8.4	3.4
福岡県	83.5	92.8	98.0	95.9	94.9	98.2	▲6.9	11.1	5.6	▲2.1	▲1.1	3.5
佐賀県	74.1	85.5	89.7	88.2	90.1	91.5	▲10.3	15.4	4.9	▲1.7	2.2	1.5
長崎県	87.3	92.2	93.7	93.4	91.8	90.1	▲5.2	5.6	1.6	▲0.3	▲1.7	▲1.9
熊本県	112.2	121.5	128.5	129.0	124.3	126.9	▲4.0	8.3	5.8	0.4	▲3.6	2.1
大分県	88.0	88.2	95.8	96.7	93.7	93.2	▲2.7	0.2	8.6	1.0	▲3.2	▲0.5
宮崎県	93.9	99.3	104.5	103.6	96.1	96.2	▲6.7	5.8	5.2	▲0.8	▲7.3	0.2
鹿児島県	97.2	99.6	109.0	107.9	108.1	107.1	▲4.0	2.5	9.4	▲1.0	0.2	▲0.9
沖縄県	64.2	65.0	66.7	66.0	64.9	66.9	▲12.7	1.2	2.6	▲1.0	▲1.8	3.2

注1) 2021年7月までは実績値（都道府県CI）、2021年8～10月は予測CI

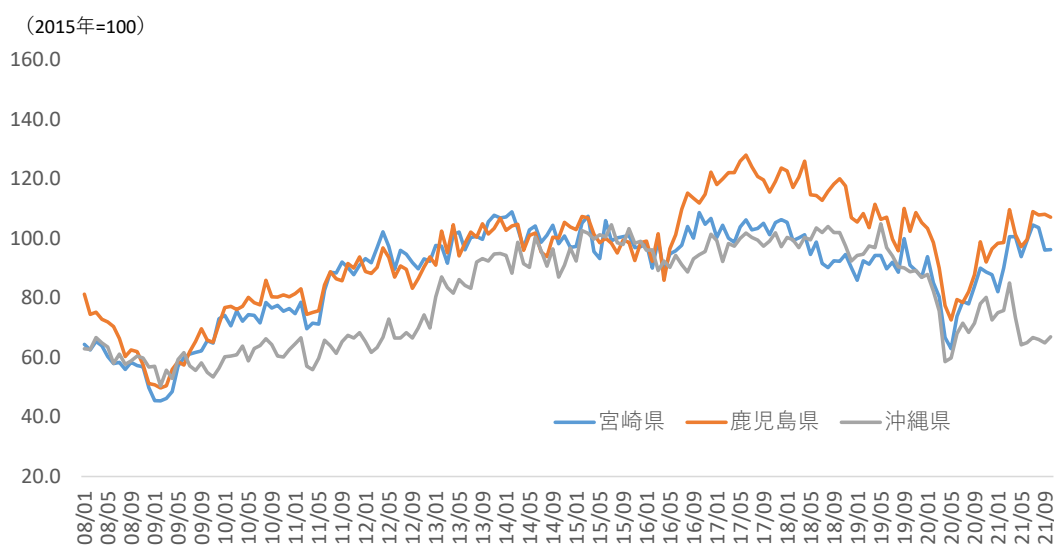
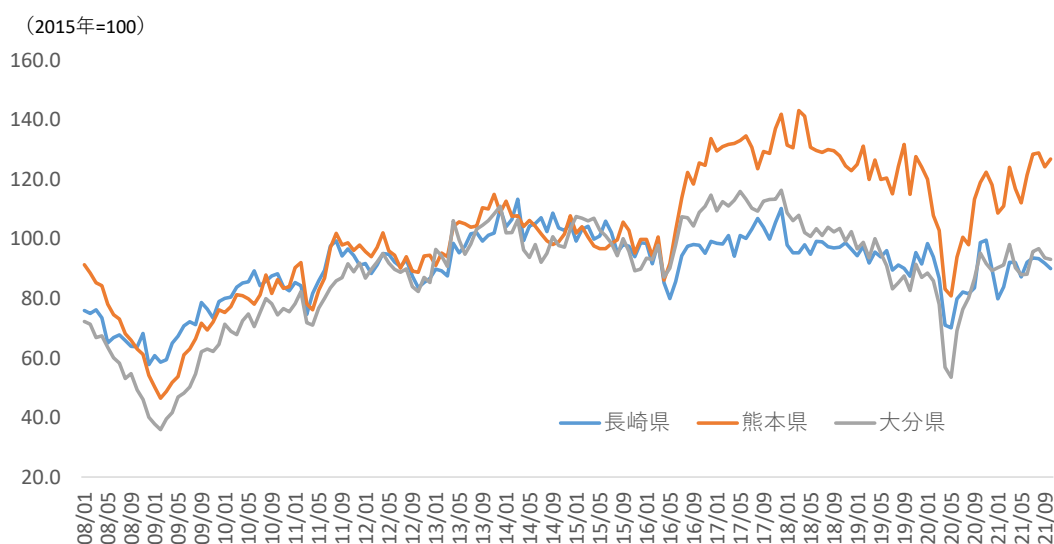
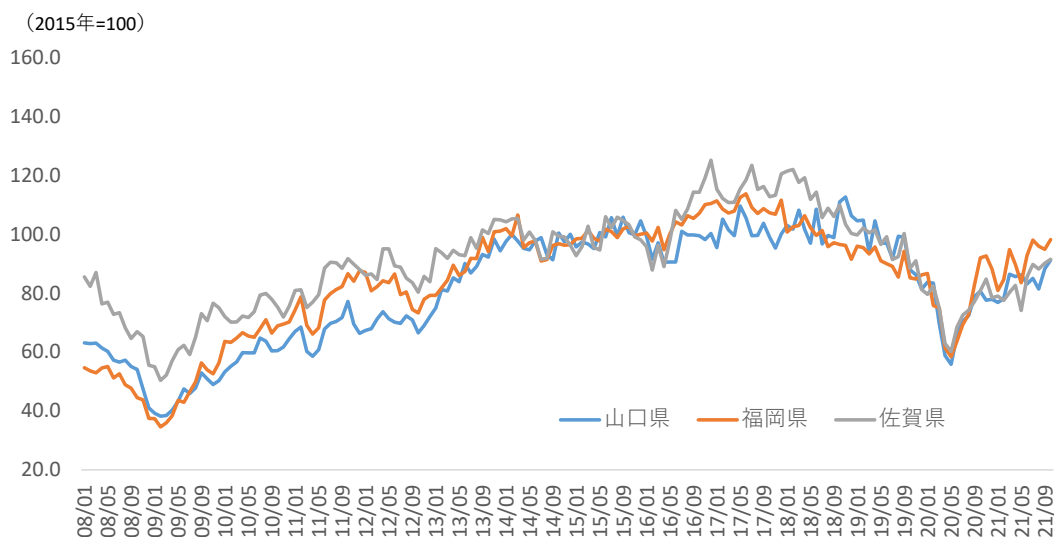
注2) 2021年10月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

松嶋 慶祐（事業開発部 次長）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2021年7月までは実績値(都道府県CI)、2021年8~10月は予測CI

注2) 2021年10月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i 景気動向指数（CI）は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

ii 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ（気温や降水量）など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域（九州、沖縄県、山口県）の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号